

講義科目名: プロジェクトⅢ

英文科目名: Projects III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2	選択
担当教員			
船舶工学科全教員			
2008年	船舶	週2時間	

講義概要	受講者がテーマを見つけ、調査研究または製作などを行うものである。プロジェクトⅡの成果を踏まえ、立案から計画・実施までをより綿密に行うことで、工学者として必要な自ら考え行動する資質を養成することを目的とする。教員はあくまでも補助者として指導する。一人で行ってもよい、数人でチームを組んでもよい。チームを組む場合(1チーム5名以下)は、学年が異なる組み合わせが望ましい(上級生の指示を受け、下級生を指導して活動する)。
授業計画	<p>1. 年度当初に説明会を開く。テーマについては、受講者の発案によるものを主とするが、教員からも若干のテーマを提案する。テーマとしては次のようなものが例として考えられる。乗船実習、カヌー・ヨットの製作、船の歴史の調査研究、資格取得、コンペ。</p> <p>2. 受講者は、受講申告し、規定の計画書を原則として6月末までに提出する。計画書は次の内容からなっている。</p> <p>a. テーマ</p> <p>b. 受講者</p> <p>c. 希望指導教員(第2希望まで、1教員あたりの受け入れ可能人数は10名である。)</p> <p>d. 内容と計画(箇条書き)</p> <p>e. 評価対象(何をもって評価されたいのかを書く。例えば、報告書か、製作した作品、図面等の別)</p> <p>f. 補助金(要望する補助金の金額を含む)</p> <p>3. 提出された計画書は教室で審議の上、指導教員を定めて受講の許可(決定された補助金の額を含む)を7月までに出す。場合によっては、計画の変更を要求する場合もある。</p> <p>4. 計画に変更を生じた場合は、指導教員にすみやかに報告する。</p> <p>5. 報告書は、A4(横40文字、縦37行)で10*チーム人数頁以上とし、その他の場合もこれに準ずる。</p>
授業形態	受講するテーマによって異なる。
達成目標	受講するテーマによって異なる。
評価方法	課題への取り組み状況、報告書もしくは作品、発表会。
評価基準	受講するテーマによって異なる。
教科書・参考書	特に無し。
履修条件	特に無し。
履修上の注意	特に無し。
オフィスアワー	随時。
備考・メッセージ	特に無し。